

2007年



発行・扶桑町議会
編集・議会だより編集委員会
愛知県丹羽郡扶桑町
大字高雄字天道330
TEL(0587)93-1111㈹480-0102
FAX(0587)92-1381
発行日 平成19年5月1日

議会だより

第187号



北口

名鉄柏森駅完成
(平成19年3月28日)



南口

3月定例会

- 平成19年度 一般会計予算 2P・3P
- 委員会の審議から 4P・5P
- 国民健康保険などの特別会計 6P
- 一般質問 7P～12P

80億6,700万円

一般会計予算を可決

前年度当初予算対比
1.6%減額

平成19年度の扶桑町一般会計予算は、前年度比1.6%の減額となる80億6700万円となっています。

19年度予算は、税源移譲を始め税制改正などによる町税の大幅な增收が見込まれ、一方において地方交付税・臨時財政対策債が大幅な減となっており、全体として依然財政状況は厳しいものとなっています。

歳入

個人町民税

地方税法の改正により、定率減税廃止、均等割及び所得割の増で、前年度比37.3%の増額です。

法人町民税

好調な企業収益により、前年度比35.3%の増額です。

固定資産税

新築家屋の増加等により、前年度比2.6%の増額です。

地方交付税

町民税等の伸びにより、前年度比84.2%の減額です。

国庫支出金

柏森駅周辺街路整備事業の縮小等に伴い、16.7%の減額です。

歳出

柏森小学校増築工事

校下児童数増加に伴

教育債

教育債の増加が見込まれるもの、県営畠地帯総合整備事業建設事業の縮小や減税補てん債の皆減、臨時財政対策債の減等により、前年度比2.2%の減額です。



各地で子育て支援の充実を図り、出産祝い金の増額や医療費の無料化の拡大をしているのに、扶桑町は愛知県の中でも最も遅れた町になってしまっている。

税制改悪により、国保税も介護保険料も上がる状況の中、敬老祝い金や健康増進のための助成金を廃止するなど住民の願いを押さえつけながら町長は、給料や退職金を4年間で約7900万円も受け取る。これでは、住民は納得しない。

今回の予算は、今日の住民の生活実態から、暮らし、福祉、教育を守る観点が抜けているので、反対する。

反対討論

平成19年3月定例会は、1日から23日まで開催されました。今定例会では、19年度一般会計予算・特別会計予算のほか、補正予算、条例の改正や陳情など33件の審議を行いました。

小泉内閣4年半の政治は、貧困と格差の拡大を進めた。特に、若い世代の雇用状況は、非正規労働者が増加し、給料もまともにもらえない状況であり、高齢者に対しても大増税が押しつけられ、雪だるま式の負担増じなった。



木津用水駅南側

総額は

平成19年度扶桑町

庁舎バリアフリー化改修事業

玄関前スロープの改修、2階に身障者用トイレスの設置及び駐車場東側の舗装等を行います。

人事評価制度

能力・個性を十分發揮し、住民に身近な行政サービスの担い手となる職員を育成するため、人事評価システムの構築を開始します。

妊婦健診事業

妊婦健診を2回から7回に増やし、妊婦の健康維持、疾病の早期発見、早期治療に努めます。

資源ごみ収集運搬処理等委託事業

紙類（新聞紙・雑誌・段ボール・雑紙）及び古着収集を全地区で実施し、また、資源ごみの平日受入れも実施します。

木津用水駅南道路改良事業

駅南側の道路改良及び駐輪場を整備します。

一時保育事業

斎藤保育園で実施している一時保育を高雄保育園でも実施します。

留守家庭児童対策事業

留守家庭児童会を斎藤学習等供用施設に増設します。

後期高齢者医療対策準備事業

平成20年度から老人保健に代わる後期高齢者医療制度が実施されることに伴う準備費用です。

町例規集電子化事業

例規集をホームページに掲載することにより、町行政の情報開示を進めます。

賛成討論

主な歳入予算比較表		
科 目	予 算 額	前年度対比
町 税	4,786,337千円	17.9%増
地 方 交 付 税	75,000千円	84.2%減
地 方 消 費 税 交 付 金	278,000千円	6.1%増
国 庫 支 出 金	321,394千円	16.7%減
県 支 出 金	388,769千円	4.4%増
町 債	438,400千円	2.2%減

平成19年度の主な事業	
事 業 名	予 算 額
柏森小学校増築工事	192,347千円
耐震改修促進計画策定事業	8,230千円
庁舎バリアフリー化改修事業	14,200千円
人事評価制度	3,018千円
妊婦健診事業	15,253千円
資源ごみ収集運搬処理等委託事業	51,710千円
木津用水駅南道路改良事業	10,718千円
一時保育事業	8,705千円
留守家庭児童対策事業	21,359千円
後期高齢者医療対策準備事業	35,641千円
町例規集電子化事業	10,731千円

以上の4つの重点施策が示されており、現実を見据え、将来を望した予算になつてゐる。予算の執行については、住民サインで立つた行政を進めるため、議会の意見に耳を傾けることを要望し賛成する。

づくりとして、子育て支援、教育の充実と学校活動の支援、高齢化对策、健康づくり推進の4事業。少子高齢化に対応したまちづくりとして、新総合計画策定、住民参加・コミュニケーション活動推進、町制55周年記念、情報共有化推進、国際交流推進の5事業。その他、文化会館・総合体育館改修工事、企業誘致のための政策の3事業が実施される。

以上、4つの重点施策が示されており、現実を見据え、将来を望した予算になつてゐる。予算の執行については、住民サインで立つた行政を進めるため、議会の意見に耳を傾けることを要望し賛成する。

委員会の審議から

総務・文教常任委員会



平成18年度町民まつり

問 平成18年度町民まつりは、今後どのように運営していくのか。

答 住民による運営を図りつつ、行政の関与を減らし、最終的には住民主体のまつりにしていく。

問 住民による運営を図りつつ、行政の関与を減らし、最終的には住民主体のまつりにしていく。

答 36kgのコンデンサーと蛍光灯の安定器が100個あり、特殊な物品であるため、処理業者も運搬業者も限られるところから処理費が高い。

問 税金滞納者で多重債務者である場合の扱いは。

答 面談で多重債務者が分かれれば、相談所を照会する。

問 給食費の悪質な滞納者の報道を聞くが扶桑町はどうか。

答 滞納はあるが、悪質な滞納者はいないと思っている。

問 県及び町指定の文化財は何件か。また、補助額は。

答 県、町を含め15件指定しており、工作物5000円、古文書3000円の補助をしていく。

問 食品の安全性について、どこまで確認しているか。

答 学校給食用物資納入業者を保健所が行う衛生監視点数などを基に31業者を指定しており、安全性が保たれていると考えている。

問 防犯啓発用品の内容と地区の防犯パトロール隊の数は。

答 防犯啓発用品は、帽子、反射バンド、のぼり旗、ポール、ベントなどで、県から定期的にもらえるため不足した場合に補つていく。また、町内14地区で防犯パトロール隊を設置している。

問 PCBの処理量は。また、処理費が高いのは。

答 PCBの処理量は。また、処理費が高いのは。

問 デュニアスポーツ教室の指導者の実態は。

答 犬山レクリエーション指導者協会、スポーツボランティア、体育指導委員を指導者としてお願いしている。

問 厚生常任委員会



雑紙回収の様子（南新田）

問 斎藤保育園に続き高雄保育園でも一時保育を実施するが、どの保育室で行うのか。また、他の保育園では実施しないのか。

答 乳児室で対応する。他の保育園では部屋がないため難しい。

問 12月議会で町独自の減免に関する請願が採択されたので、食費だけでも減免できないか。

答 障害者自立支援制度の本質にかかることであり、食費の減免は考えていない。

問 18年度から3年間段階的に保育料が値上げされ、さらに、定率減税の廃止により、一重の値上げになるので税制改正分だけでも配慮すべきでは。また、税制改正による影響は。

答 結果として、保育料に影響しているが、特定の人だけを考慮することはできない。また、影響は225人、年額236万円程度見込んでいく。

問 19年度から町内全地区で紙類（新聞紙・雑誌・段ボール・雑紙）及び古着を回収し、年間800トンから1000トンの回収が目標である。

答 予どもたちは、遊具で遊び、学び成長していくので、安全対策を考え進めていく。

問 じみの減量対策の状況は。

答 12月議会で町独自の減免に関する請願が採択されたので、食費だけでも減免できないか。

問 斎藤保育園に続き高雄保育園でも一時保育を実施するが、どの保育室で行うのか。また、他の保育園では実施しないのか。

答 乳児室で対応する。他の保育園では部屋がないため難しい。

經濟・建設常任委員會

問	つくりし学園のトイしの改修が必要であるが、園舎改修をどの程度行うか。
答	今回の工事は、外壁が主体でありますが、今後検討していきたい。
問	犬の登録件数及び狂犬病予防注射件数は。
答	約2500頭の登録のうち約2050頭が予防注射を接種している。接種率は約82%である。
問	一人暮らしの人数及び緊急電話の設置件数は。
答	民生委員による掌握では、一人暮らし老人は492人おり、140人が緊急電話を設置している。
問	インフルエンザ予防接種の人数及び助成人数は。
答	18年度は4333人のうち620人、17年度は4431人のうち1070人が助成実態であった。
問	国保税を値上げする理由は。
答	18年度決算見込みで2800万円の赤字であり、19年度予算是、税率改正しないと1億円の赤字が予想されるためである。
問	人間ドックの申込件数は。
答	定員460人に對し、427人の申込みがあった。18年度より周知方法を変更したため少なかつた。
問	有害鳥獣はどんなものがいるか。また、実績は。
答	カラス、ヌートリア、アライグマ、ハクビシンなどで、18年度は22頭捕獲した。
問	木津用水公園のトイしを撤去するが、撤去後の対応は。
答	木津用水路改修工事で支障になるため撤去する。工事詳細が分かり次第協議していく。
問	緑地公園のグラウンドの防球ネットの傷みが激しく危険であるが改修はどうするのか。
答	公園施設遊具は、現場を確認し施設修繕費で対応していく。
問	江南扶桑線の整備内容は。
答	扶桑中学校東側フェンスの外側に余裕があるため、約1キロメートルの歩道を整備する。
問	道路維持管理費、道路維持補修管理費の工事費が18年度と比べ2千万増額されているが、町道払下げ分の整備費が入っているのか。
答	県道の払下げにより増額したわけではなく、全体的に傷んでおり、少しでも地区の要望にこたえるためである。
問	道路の総延長は248kmで48
問	側溝の整備状況は。

リハビリテーション日数制限の撤廃を求める意見書

平成18年4月の診療報酬改定により、リハビリテーションに関する評価体系が大きく変えられ、保険診療の適用される期間が限定され、リハビリテーション医療が大幅に制限された。

その結果、少なくない患者のリハビリテーションが打ち切られる事態が生じている。このままでは、リハビリテーションを必要とする患者の身体機能の低下も懸念され、患者の立場に立った見直しが求められる。

個々の患者の必要に応じた十分なリハビリテーションを提供できるように、国会及び政府は、以下の点について速やかに対応されるよう要望する。

記

次期診療報酬改定を待つことなく、速やかにリハビリテーションの診療報酬上の日数制限を撤廃すること。

提出先は

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、
経済財政政策担当大臣、財務大臣、総務大臣、
厚生労働大臣宛の7件です。

答	問	答	問
畠かんの維持管理費として賦課金を徴収しているが用途は、ポンプ場の電気代等の維持管理費に充当している。	下水道の受益者負担金の減免は、どういう施設が対象となるのか。	地区公民館、文化財指定箇所、墓地、児童遊園、「こみ集積場」は、100%減免となる。	貯留槽が道路に入っている場合どのようにして事するのか。



国民健康保険などの特別会計予算

国民健康保険特別会計

増加する医療費により、平成18年度決算の赤字が予測されるため、予算案の改正を行っています。

前年度比11・8%の増額となつて います。

	医療給付費分	介護納付金分
所得割	7. 0 %	1. 4 %
資産割	35. 0 %	5. 0 %
均等割	26, 000円	7, 300円
平等割	26, 300円	6, 500円
課税限度額	530, 000円	90, 000円

公共下水道事業特別会計

医療制度改正によって国民健康保険に移行しているため、前年度比4%の減額となっています。

平成19年度会計別予算規模			
会計名		金額	前年度対比
特 別 会 計	一般会計	8,067,000千円	1.6%減
	土地取得	524千円	103.9%増
	国民健康保険	3,342,929千円	11.8%増
	老人保健	2,363,855千円	4.0%減
	公共下水道事業	536,591千円	37.5%増
	介護保険	1,445,926千円	7.3%増

老人保健特別会計

公共下水道事業特別会計
平成19年4月から公共下水道約120haの供用を開始し、公共下水道使用料の徴収事務を丹羽広域事務組合に委託します。

また、今後の供用区域拡大に向け管きよ工事の面整備を図るため第7処分区内の実施詳細設計を予定しており、前年度比37・5%の増額となっています。



下水道管理設工事

土地取得特別会計

入所者介護サービス等費7
の増、地域支援事業費が22
の増となって います。

陳情の結果

- 地域中小企業に対する行政と商工会の一体的支援体制の確立に
関する陳情書　　採択
 - 「つばひとつチーン」の日数制限撤廃を求める意見書」の提出
に関する陳情書　　採択
 - 下水道漏水に対する対応についての陳情書　　「調査報告により
審査し、了としたため採決なし」

介護保険特別会計

第三期扶桑町高齢者保健福祉総

3月定例会では、3件の議員提出議案を提案し、いずれも可決しました。

議会議員定数20人→16人

扶桑町議会議員定数条例の一部を改正する条例

3月定例会

一般質問と答弁

11議員が行いました。内容を要約してお知らせします。

答

問

農地や森林などの保全拡大について

異常気象が進み、日本の食料自給率が低い状態をかんがみ身近な自然環境を大事にし、後世へ残していく取組が、都市計画の見直しも含めて急務であると考えるがどうか。

我が国の食料自給率は約40%であり国外に大きく依存する状況である。地球全体の気候システム

答

後継者を育てる上での最重要課題は魅力ある経営であると考えてい。各々の課題については多様であり、商工会の経営指導員と連携し解決を図っていく。行政として対応すべき共通の課題は、資金調達であると考える。平成19年度も商工業振興資金融資実行の目安となる信用保証料助成を継続して行い、中小企業を支援していく。

地域の商工業の発展と都市計画の見直しについて

間瀬英之議員



セネガル料理試食会（中央公民館）



副町長に關 芳雄 氏
副町長の選任については、全会一致で同意しました。
なお、任期は4月1日から4年間です。

関 芳雄 氏
昭和21年生まれ
扶桑町大字高雄在住

人権擁護委員の推薦に同意

安藤 猛 氏
昭和13年生まれ
扶桑町大字柏森在住

あなたも講会を
傍聴してみませんか
定例会は来月
6月です

詳しくは議会事務局まで
TEL 93-1111 内線322

6月定例会の開催予定日	
6月4日(月)	開会・提案説明
6月8日(金)	一般質問
6月11日(月)	一般質問
6月12日(火)	議案質疑
6月13日(水)	総務文教常任委員会
6月14日(木)	健康福祉常任委員会
6月15日(金)	産業建設常任委員会
6月21日(木)	委員長報告・討論・採決・閉会

「四塊の世代」の地域デビュースポーツ支援を

伊藤 伊佐夫 議員

情報バリアフリーの促進を

長年培つた豊な知識と経験を生かして、地域での活動を円滑にしていただくための講座などを考えたらどうか。

住民との協働を進めるうえから
も、情報提供など密接な連携に努
めていきたい。

有料広告事業の拡大を

町が生み出すあらゆる媒体を活用した企業広告拡大を。

安心の出産環境の整備を

現在、庁用封筒に企業広告を掲載していくが、今後、町のホームページにバナー広告の募集を予定している。

問

答 や、産科医・看護師不足が指摘されている。周辺ではどうか。
尾張地域は、周産期医療体制の

出産一時金の拡大を 答問



新しくなった扶桑町ホームページ

シルバーパートナーについて

高木武義議員

問 町は危険が少ない公共施設内の

こえている。行政がシルバー人材センターに仕事を委託するときには、どのような基準で発注するのか。また、団塊の世代の入会を踏まえた、これからシルバー人材センターの積極的な活用の考え方とは。

答 仕事の難易度・経験・実績等で判断し、発注している。今後、積極的にシルバー人材センターに登録し支援していく。また、平成19年度に就業機会創出員の配置を計画している。会員が増えることに伴い、新しい就業先の開拓を行つ者を配置する。

児童館について

高雄東部工団に児童館のほか誰もが利用できる公共施設を建設できないか。緊急避難場所にもなり得る有益な施設になることは間違いない、必要性を理解してもらいたいが。

答 運営委員会を設け検討し、「放

答

問 課後学習も「ワク」の中でも関連して検討する。現時点では、現有施設の有効活用を基本とし、整備していくべき。
高雄東部区域の田園地帯において国道41号線をまたいで進められている砂利採取の問題点を含めての考えは。



シルバー人材ヤンター

学校教育全般について



高雄小學校正門

指導を行ふ食事制限をしていの児童生徒は、平成18年度は小学校32名、中学校11名。現在、調理場では調理業務の見直しに伴い、正職員から順次パート職員に切り替へ今後もこれまでと同じように対応していく。アレルギー反応であるアナフィラキシーの発症など生死にかかわる事態も想定されるので、医師の診断書を提出した児童生徒を対象としている。食物アレルギーによる食事制限のある児童生徒が、他の児童生徒と同じように給食が食べられるよう努めている。

「いじめ」が口腔の「いじめ」を超えて、いじめの問題であるとの認識が一般的になつてしまふ。そのような認識に立ち、いじめに関するアンケートや相談活動を行つていふ。また、校内のいじめ対策委員会の開催など、より細かい部分に気を配つた教員の指導体制を各学校でとつてこなす。幸い、学校でつかむことができた「いじめ」についてば、学校の適切な指導で解決

新井三郎議員

新井三郎議員

社会教育研究大会について



問	答
役場内での団塊世代について 退職を控えた職員の現状と業務 への影響は。	19年から23年まで各5、6、5、 5、5名で計26名となつてゐる。 例年と大差ないので業務に影響は ない。

問	答
第38回東海北陸社会教育研究大会開催の要綱は	趣旨「東海北陸各県の社会教育委員が、一堂に会し各地域における社会教育活動の成果や課題について情報交換をする。生涯学習の視点に立つて、時代の変化に対応した新しい地域づくり、人づくりを目指して研究協議を行つ」
期日「平成19年10月18日～19日」	大会主題「生きがい・ふれあい・学びあい」

合	向	合	向
		<h2>公共下水道事業について</h2>	
19年度の工事予定は。		高木地区内の第6・第7処理分区（青木川北）の枝線工事を行つ。	
児童への対応は。		現在5学供で開設しているが、柏森地区の学童増に伴い斎藤学供を加え6学供にする。	

留守家庭児童会について

児童への対応は、現在5学年で開設しているが、柏森地区の学童増に伴い斎藤学供を加える学供にする。

全国一斉学力テストについて

競争原理を持ち込む学力テストは不参加を



出演者とふそう文化夢応援団

問

テストの狙い、内容など及び競争を助長するとの懸念に対する見解は。

答

全国的な関係で自らの教育及び教育施策の成果と課題の把握・改善が目的。小学6年生、中学3年生の国語・算数(数学)の知識調査、実生活に活用する力、学習生活に関する質問などが内容。子供たちに自分の「データー」が届くのは9月以降になる。分析結果を見て学力のさらにつきがあれば、制度や教育環境の整備、指導方法の改善などが課題となる。児童生徒個人にも改善事項が明確になると期待している。また、これにより競

問

争意識をあおるのみならぬではない。

指定管理者制度について

文化会館への指定管理者制度の導入は、ボランティア団体に強い反発がある。導入を見直すべきでは。

答

「この制度は、公の施設の管理運営に民間活力を導入するものである。現在4施設に導入しているが

成果は長い目が必要であり、今のところ順調」という認識である。文化会館は、平成21年度の導入を目標としているが、ボランティア団体「ふそう夢応援団」の豊かな活動実績と行政との関係を尊重し指定管理の在り方を研究したい。

答

私有地のセットバックした路側帯も舗装すべきではないか。

路肩の未舗装部分は住民の方々に除草作業をしていただいている。感謝している。セットバック部分については私有地のため町による舗装工事は難しいが、所有者の方から申出があった場合は現況調査の上、前向きに検討したい。

問

今年、4月に全国一斉に行なわれた学力テストは、特定の教科と一部の学力を対象にしている。結果の公表により子どもたちや学校間、地域に競争原理を持ち込むことになる。競争によつて学力を向上させようとする」とは、自ら学ぶ力、基礎学力の向上にはつながらない。扶桑町教育委員会も不参加の意志は無い。

答

教育委員会の結論として、全国一斉の学力テストに参加する。結果は公表しない考えである。

障がい者への支援事業について

シヨートステイも可能なグループホームの建設は障がい者や家族



橋の建設が計画されている県道小淵・江南線

問

の切実な要求である。扶桑町は建設設計画を明らかにし早期に建設しては。

答

法人でも検討しており支援する。障がい者の就労先が不足しているので将来を見越し、町として就労場所を確保すべきと思うが。

答

「たんぱせ」でも検討してお

り町としては参りたい。

問

法人でも検討しており支援する。障がい者の就労先が不足しているので将来を見越し、町として就労場所を確保すべきと思うが。

答

県下の自治体の中には、中学校卒業まで医療費無料制度を拡大しており、扶桑町でも、ぜひ年齢の拡大をしていただきたいが。

愛知県や国において見直しが行われるので検討したい。

問

新愛岐大橋建設計画は地元住民の反対が大きいのに、予備設計のための測量を実施した。しかし、住民合意が前提であり、こつした進め方は間違っている。住民の意志を無視する県の進め方を正すべきでは。

住民合意は承知している。納得しているだけのよう努力する。

問

の切実な要求である。扶桑町は建設設計画を明らかにし早期に建設しては。

問

法人でも検討しており支援する。障がい者の就労先が不足しているので将来を見越し、町として就労場所を確保すべきと思うが。

答

「たんぱせ」でも検討してお

り町としては参りたい。**問**

の切実な要求である。扶桑町は建設設計画を明らかにし早期に建設しては。

問

法人でも検討しており支援する。障がい者の就労先が不足しているので将来を見越し、町として就労場所を確保すべきと思うが。

答

県下の自治体の中には、中学校卒業まで医療費無料制度を拡大しており、扶桑町でも、ぜひ年齢の拡大をしていただきたいが。

愛知県や国において見直しが行われるので検討したい。

問

新愛岐大橋建設計画は地元住民の反対が大きいのに、予備設計のための測量を実施した。しかし、住民合意が前提であり、こつした進め方は間違っている。住民の意志を無視する県の進め方を正すべきでは。

住民合意は承知している。納得しているだけのよう努力する。

問

の切実な要求である。扶桑町は建設設計画を明らかにし早期に建設しては。

問

法人でも検討しており支援する。障がい者の就労先が不足しているので将来を見越し、町として就労場所を確保すべきと思うが。

答

「たんぱせ」でも検討してお

り町としては参りたい。**問**

の切実な要求である。扶桑町は建設設計画を明らかにし早期に建設しては。

問

法人でも検討しており支援する。障がい者の就労先が不足しているので将来を見越し、町として就労場所を確保すべきと思うが。

答

県下の自治体の中には、中学校卒業まで医療費無料制度を拡大しており、扶桑町でも、ぜひ年齢の拡大をしていただきたいが。

愛知県や国において見直しが行われるので検討したい。

問

新愛岐大橋建設計画は地元住民の反対が大きいのに、予備設計のための測量を実施した。しかし、住民合意が前提であり、こつした進め方は間違っている。住民の意志を無視する県の進め方を正すべきでは。

住民合意は承知している。納得しているだけのよう努力する。

問

の切実な要求である。扶桑町は建設設計画を明らかにし早期に建設しては。

問

法人でも検討しており支援する。障がい者の就労先が不足しているので将来を見越し、町として就労場所を確保すべきと思うが。

答

「たんぱせ」でも検討してお

り町としては参りたい。**問**

の切実な要求である。扶桑町は建設設計画を明らかにし早期に建設しては。

問

法人でも検討しており支援する。障がい者の就労先が不足しているので将来を見越し、町として就労場所を確保すべきと思うが。

答

県下の自治体の中には、中学校卒業まで医療費無料制度を拡大しており、扶桑町でも、ぜひ年齢の拡大をしていただきたいが。

愛知県や国において見直しが行われるので検討したい。

問

新愛岐大橋建設計画は地元住民の反対が大きいのに、予備設計のための測量を実施した。しかし、住民合意が前提であり、こつした進め方は間違っている。住民の意志を無視する県の進め方を正すべきでは。

住民合意は承知している。納得しているだけのよう努力する。

問

の切実な要求である。扶桑町は建設設計画を明らかにし早期に建設しては。

問

法人でも検討しており支援する。障がい者の就労先が不足しているので将来を見越し、町として就労場所を確保すべきと思うが。

答

「たんぱせ」でも検討してお

り町としては参りたい。**問**

の切実な要求である。扶桑町は建設設計画を明らかにし早期に建設しては。

問

法人でも検討しており支援する。障がい者の就労先が不足しているので将来を見越し、町として就労場所を確保すべきと思うが。

答

県下の自治体の中には、中学校卒業まで医療費無料制度を拡大しており、扶桑町でも、ぜひ年齢の拡大をしていただきたいが。

愛知県や国において見直しが行われるので検討したい。

問

新愛岐大橋建設計画は地元住民の反対が大きいのに、予備設計のための測量を実施した。しかし、住民合意が前提であり、こつした進め方は間違っている。住民の意志を無視する県の進め方を正すべきでは。

住民合意は承知している。納得しているだけのよう努力する。

問

の切実な要求である。扶桑町は建設設計画を明らかにし早期に建設しては。

問

法人でも検討しており支援する。障がい者の就労先が不足しているので将来を見越し、町として就労場所を確保すべきと思うが。

答

「たんぱせ」でも検討してお

り町としては参りたい。**問**

の切実な要求である。扶桑町は建設設計画を明らかにし早期に建設しては。

問

法人でも検討しており支援する。障がい者の就労先が不足しているので将来を見越し、町として就労場所を確保すべきと思うが。

答

県下の自治体の中には、中学校卒業まで医療費無料制度を拡大しており、扶桑町でも、ぜひ年齢の拡大をしていただきたいが。

愛知県や国において見直しが行われるので検討したい。

問

新愛岐大橋建設計画は地元住民の反対が大きいのに、予備設計のための測量を実施した。しかし、住民合意が前提であり、こつした進め方は間違っている。住民の意志を無視する県の進め方を正すべきでは。

住民合意は承知している。納得しているだけのよう努力する。

問

の切実な要求である。扶桑町は建設設計画を明らかにし早期に建設しては。

問

法人でも検討しており支援する。障がい者の就労先が不足しているので将来を見越し、町として就労場所を確保すべきと思うが。

答

「たんぱせ」でも検討してお

り町としては参りたい。**問**

の切実な要求である。扶桑町は建設設計画を明らかにし早期に建設しては。

問

法人でも検討しており支援する。障がい者の就労先が不足しているので将来を見越し、町として就労場所を確保すべきと思うが。

答

県下の自治体の中には、中学校卒業まで医療費無料制度を拡大しており、扶桑町でも、ぜひ年齢の拡大をしていただきたいが。

愛知県や国において見直しが行われるので検討したい。

問

新愛岐大橋建設計画は地元住民の反対が大きいのに、予備設計のための測量を実施した。しかし、住民合意が前提であり、こつした進め方は間違っている。住民の意志を無視する県の進め方を正すべきでは。

住民合意は承知している。納得しているだけのよう努力する。

問

の切実な要求である。扶桑町は建設設計画を明らかにし早期に建設しては。

問

法人でも検討しており支援する。障がい者の就労先が不足しているので将来を見越し、町として就労場所を確保すべきと思うが。

答

「たんぱせ」でも検討してお

り町としては参りたい。**問**

の切実な要求である。扶桑町は建設設計画を明らかにし早期に建設しては。

問

法人でも検討しており支援する。障がい者の就労先が不足しているので将来を見越し、町として就労場所を確保すべきと思うが。

答

県下の自治体の中には、中学校卒業まで医療費無料制度を拡大しており、扶桑町でも、ぜひ年齢の拡大をしていただきたいが。

愛知県や国において見直しが行われるので検討したい。

問

新愛岐大橋建設計画は地元住民の反対が大きいのに、予備設計のための測量を実施した。しかし、住民合意が前提であり、こつした進め方は間違っている。住民の意志を無視する県の進め方を正すべきでは。

住民合意は承知している。納得しているだけのよう努力する。

問

の切実な要求である。扶桑町は建設設計画を明らかにし早期に建設しては。

問

法人でも検討しており支援する。障がい者の就労先が不足しているので将来を見越し、町として就労場所を確保すべきと思うが。

答

「たんぱせ」でも検討してお

り町としては参りたい。**問**

の切実な要求である。扶桑町は建設設計画を明らかにし早期に建設しては。

問

法人でも検討しており支援する。障がい者の就労先が不足しているので将来を見越し、町として就労場所を確保すべきと思うが。

答

県下の自治体の中には、中学校卒業まで医療費無料制度を拡大しており、扶桑町でも、ぜひ年齢の拡大をしていただきたいが。

愛知県や国において見直しが行われるので検討したい。

問

新愛岐大橋建設計画は地元住民の反対が大きいのに、予備設計のための測量を実施した。しかし、住民合意が前提であり、こつした進め方は間違っている。住民の意志を無視する県の進め方を正すべきでは。

住民合意は承知している。納得しているだけのよう努力する。

問

の切実な要求である。扶桑町は建設設計画を明らかにし早期に建設しては。

問

法人でも検討しており支援する。障がい者の就労先が不足しているので将来を見越し、町として就労場所を確保すべきと思うが。

答

「たんぱせ」でも検討してお

り町としては参りたい。**問**

の切実な要求である。扶桑町は建設設計画を明らかにし早期に建設しては。

問

法人でも検討しており支援する。障がい者の就労先が不足しているので将来を見越し、町として就労場所を確保すべきと思うが。

答

県下の自治体の中には、中学校卒業まで医療費無料制度を拡大しており、扶桑町でも、ぜひ年齢の拡大をしていただきたいが。

愛知県や国において見直しが行われるので検討したい。

問

新愛岐大橋建設計画は地元住民の反対が大きいのに、予備設計のための測量を実施した。しかし、住民合意が前提であり、こつした進め方は間違っている。住民の意志を無視する県の進め方を正すべきでは。

住民合意は承知している。納得しているだけのよう努力する。

問

の切実な要求である。扶桑町は建設設計画を明らかにし早期に建設しては。

問

法人でも検討しており支援する。障がい者の就労先が不足しているので将来を見越し、町として就労場所を確保すべきと思うが。

答

「たんぱせ」でも検討してお

り町としては参りたい。**問**

の切実な要求である。扶桑町は建設設計画を明らかにし早期に建設しては。

問

法人でも検討しており支援する。障がい者の就労先が不足しているので将来を見越し、町として就労場所を確保すべきと思うが。

答

県下の自治体の中には、中学校卒業まで医療費無料制度を拡大しており、扶桑町でも、ぜひ年齢の拡大をしていただきたいが。

愛知県や国において見直しが行われるので検討したい。

問

新愛岐大橋建設計画は地元住民の反対が大きいのに、予備設計のための測量を実施した。しかし、住民合意が前提であり、こつした進め方は間違っている。住民の意志を無視する県の進め方を正すべきでは。

住民合意は承知している。納得しているだけのよう努力する。

問

の切実な要求である。扶桑町は建設設計画を明らかにし早期に建設しては。

問

法人でも検討しており支援する。障がい者の就労先が不足しているので将来を見越し、町として就労場所を確保すべきと思うが。

都市ガス工事について



ガス管理設工事

問 都市化の進む中、従来は都市ガスの供給先は特定の施設、企業が主であったのが、最近では一般家庭への供給が始まっている。どの程度、供給台数は有るか。
また、地元レピガス業者とは連携しているのか。

答 都市ガスの一般家庭への配管工事は平成13年より始まり、その総

延長は1万5290mに達し、柏森、高雄地区の一部で250戸ほどへ供給されている。今後については、その利用者と工事業者の希望によって広まつていいものと推察する。

新たなガス工事については、役場の関係各課及び丹羽広域事務組合等、他の関係機関との事前調整と地元住民への説明を十分してから進めるよう指導している。

問 下水道工事とガス配管工事はバッティングしないか。

答 道路については占用する業者と

事前調整し、バッティングしないよつに進めている。

問 大地震などが発生した時に、ガス管が埋設してある道路は避難道路として利用できないと聞くがどうなのかな。

答 ガス管が埋設してあっても、避難道路として利用しても問題はない。



間宮進示議員

子どもを守る安全対策について

問

扶桑東小で「見守り隊」の動きがあるが、教育委員会としてどうの

問

スクールガードの現場の状況は。

問

不審者情報の町民への周知は。

教育委員会として、小中学校不

審者情報連絡網を整備し、情報を共有する体制をとっている。さら

に保護者に対しては、メール配信

プリント配布、学校のホームページに掲載して安全確保に努めている。



子どもの安全を守る交通防犯指導員

千田成年議員

問

ように関わっているのか。

学校及びPTAが協力し展開している。「家の前で」「交差点まで」をスローガンとして自らの手

で子どもの安全を確保する活動を行つ。さらに、「スクールガード」とも連携を深めることも大切と考えている。

問

交通防犯指導員とスクールガードとのタイアップは。

学校側からは、指導員には情報連絡の依頼をしており、下校時に児童に接するようになっている。

課題としては、学校はもとよりスクールガードの皆様との協議により良い活動を進めていく考えである。

答 学校側からは、指導員には情報連絡の依頼をしており、下校時に児童に接するようになっている。課

題としては、学校はもとよりスク

ールガードの皆様との協議により良

い活動を進めていく考えである。

子育て支援が求められている

小林 明 議員

問

少子化が社会問題となつていい。子どもを育てられる環境づくりが必要である。そのために、子ども の医療費無料化を小学校卒業まで実施していふ市町が多くなつてい る。保育や学童の問題、出産祝い 金など子育て支援策を充実させる ことが求められている。

答

医療費は県も検討しているが、 現行で進みたい。保育料を第2子 を半額に、第3子は無料にする。 児童館は放課後フランの中で総合 的に検討する。出産祝い金は5万円 引き上げる。



所得の低い人への援助を考えよ

所得税、住民税の大増税が特に

答

現在、具体的な取組はしていな い。本当に必要な人への対応やち 密な計画も必要なので検討する。

答

新たな助成策は考えていない。

ケーズバイケースで対応していく。

問

江戸町長が提出された「行政改 革集中プラン」は、18年度、ど の項目が達成できたのか、 その進ちょく状況は。

また、「このプランで示された効 果額は、どの程度達成される見込 みか。

答

「行政改革集中プラン」の取組 について、各年度計画によつて 進めており、平成18年度につい ては、前納報奨金の半減や職員駐 車場の利用料徴収、保育料の見直 しなど19件である。

なお、18年度の項目での効果 額は、自然減や事務手数料の見直し を除いたもので、約2800万円 である。

問

町長は、平成19年度の重点施

策の中で、「企業誘致のための政 策」を示されたが、企業誘致を進 めるには、土地利用計画の諸問題、 自治体としての支援態勢の強化な どが不可欠である。

「自立・持続可能な財政基盤の 確立」を目指す町長の具体的な取 組と、その目途は。

町の将来像を描き、地の利を生 かした構想を新総合計画の中位

財政基盤の確立

千田 勝 隆 議員

問

置付け、優遇措置等を視野に入れ た企業誘致や産業振興を図り、雇 用を含め地域経済を活性化するた めの調査、研究、検討に着手する 時期にきていい。

法的問題等を含め大変に難しい 政策課題であるが、財政状況は長 期的に安定する条件や保障はない ので、少なくとも待ちの姿勢から 前向きな姿勢へ、一歩進むことが 現状認識であると想えていい。

答



問

所得の低い人への援助を考えよ

所得税、住民税の大増税が特に

現在、具体的な取組はしていな

い。

本当に必要な人への対応やち

密な計画も必要なので検討する。

新たな助成策は考えていない。

ケーズバイケースで対応していく。

として、援助すべきでは。

援助すべきでは。

べきでは。

<p